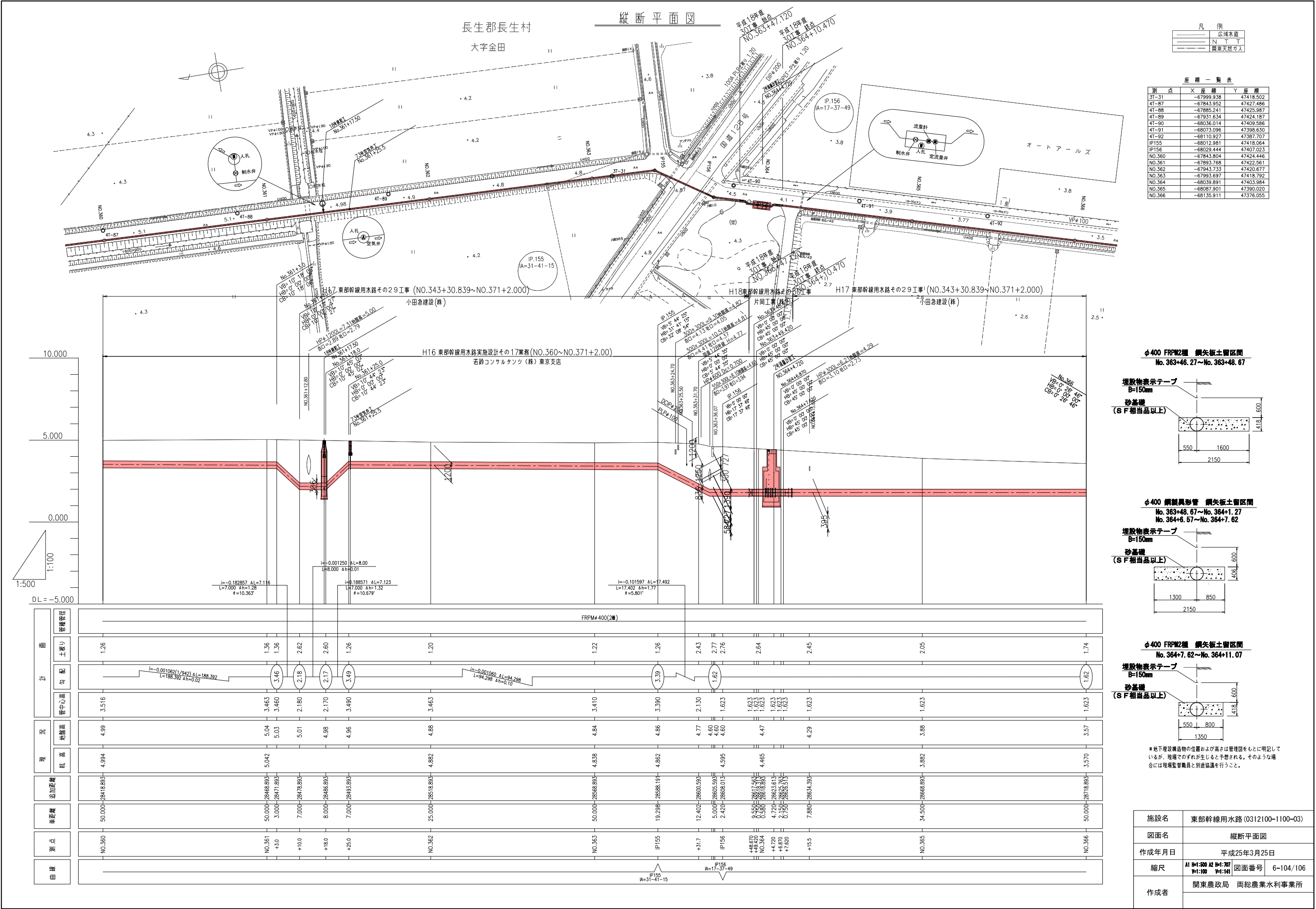
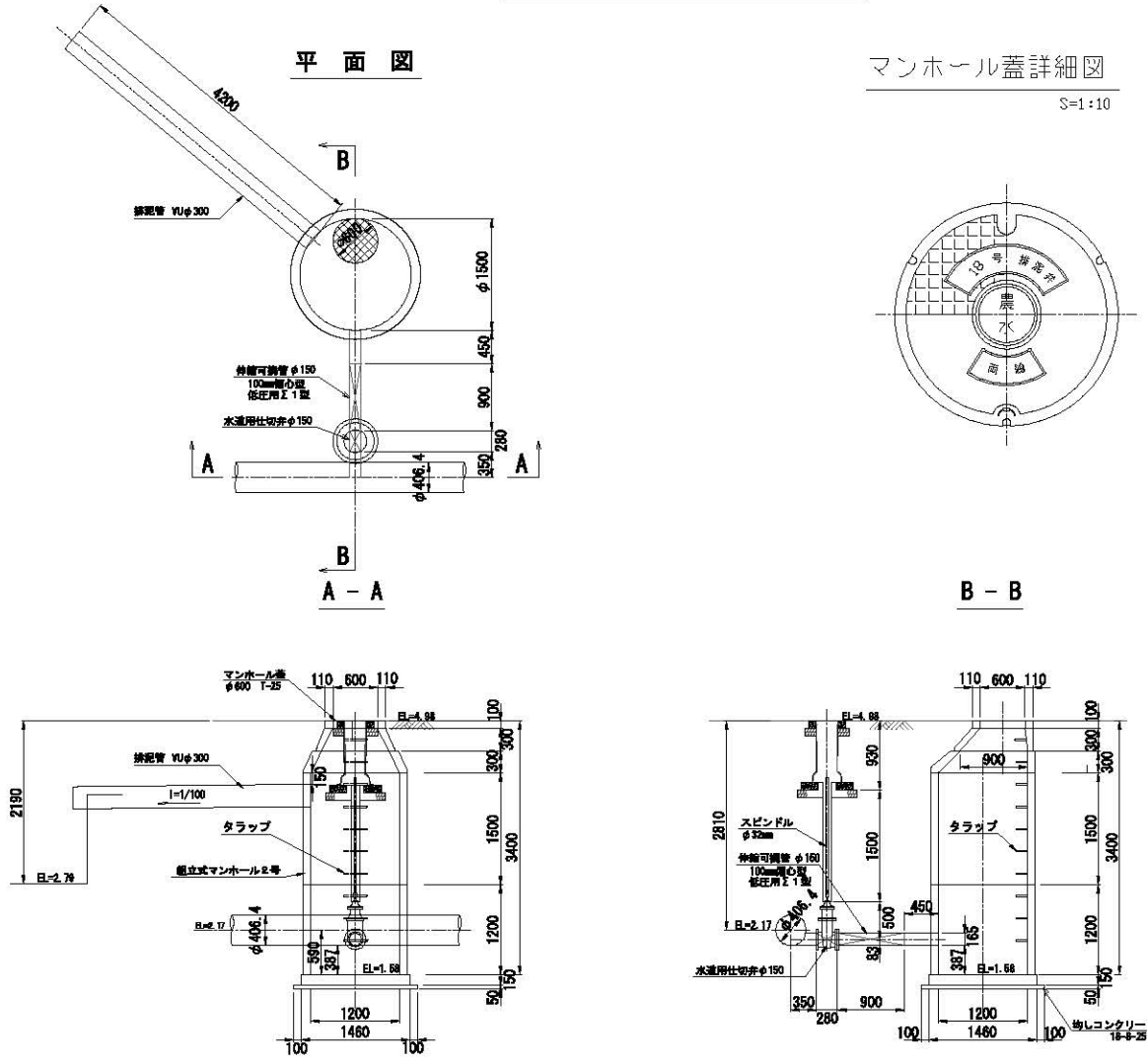
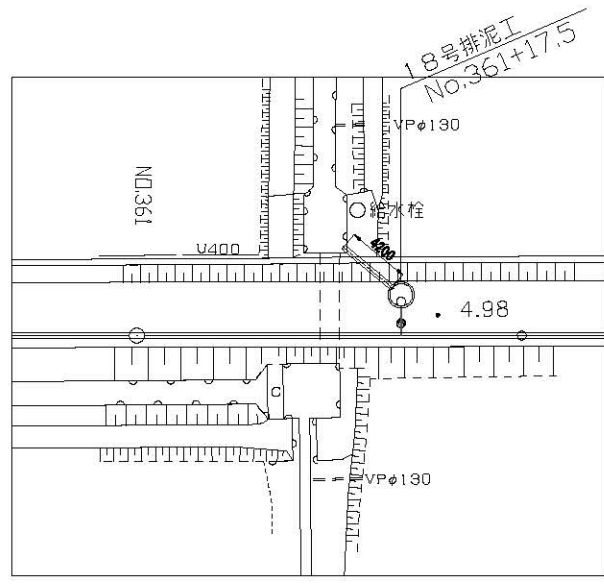




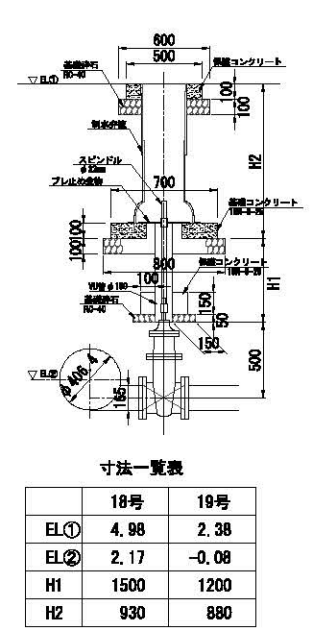
18号排泥工 S=1/50



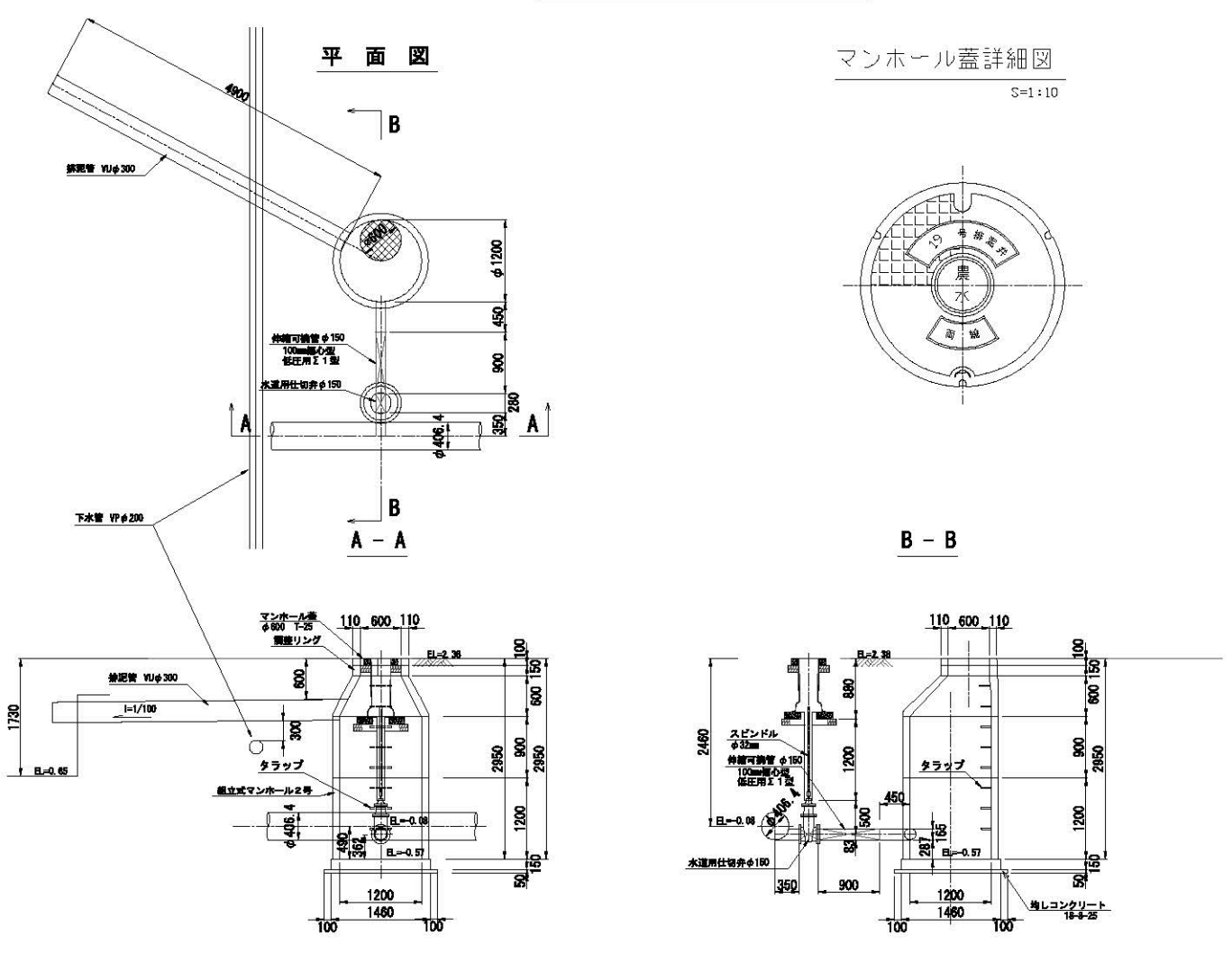
位置図 S=1/250



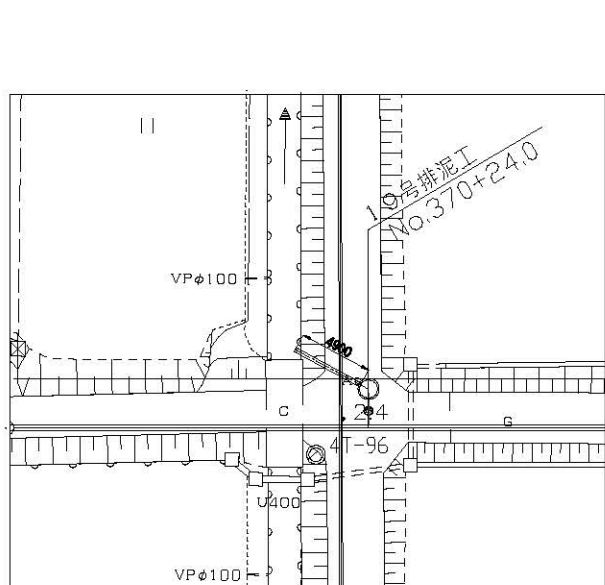
弁篋詳細図 S=1/25



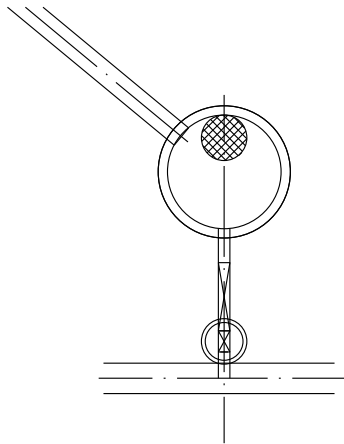
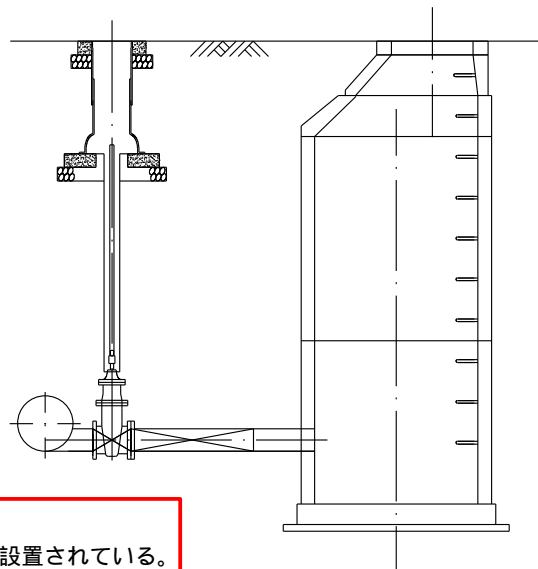
19号排泥工 S=1/50

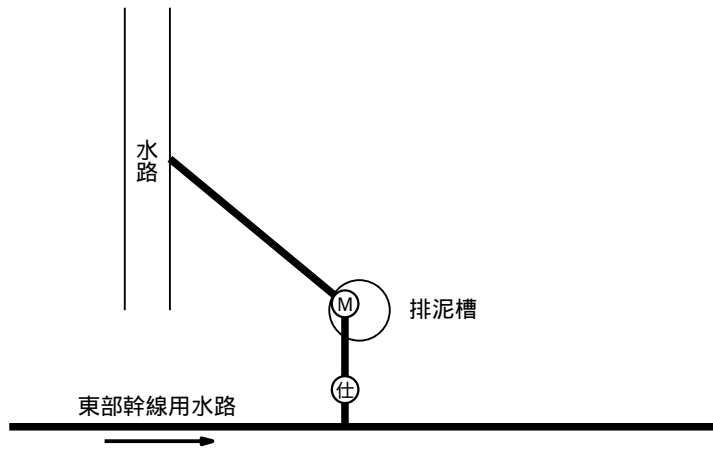


位置図 S=1/250



施設名	東京幹線用水路(0312100-1100-03)		
図面名	18号19号排泥工構造図		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	8-141/149
作成者	関東農政局 両総農業水利事業所		

排泥工番号			路線名		東部幹線用水路		緯度		35 ° 25 ' 52.87 "		
18号排泥工			関連事業名				経度		140 ° 20 ' 48.14 "		
国営 受益面積 (ha)	水田 畑 計	690 (0) 430 (0) 1,120 (0)	国営 計画流量 (m ³ /S)	計	最大流量 0.20m ³ /S	施設容量 0.20m ³ /S	排泥工付近 標高(m)	地盤高 管中心高	4.98 2.17		
							国営幹線 水位(m)	静水位 動水位			
概要			受益面積欄上段の数字は松潟支線分を含んだ面積（東部幹線の計画用水量全体の受益面積）、 下段（ ）は、上段数字の内数である東部幹線単独分（松潟支線分を含まない）の受益面積を表示している。 排泥工は長生村道3157号線下に設置された地下埋設物である。道路脇に設置された排泥槽蓋(マンホール)と道路上に 設置された仕切弁蓋(φ200mm)が目印である。他に目印として約7m先には73号空気弁の入孔(マンホール)及び通気管 が道路脇に設置されている。								
平面図			縦断面図								
											
			弁筐及び排泥槽 18号排泥工の仕切弁は左側の弁筐内に設置されている。 操作は弁筐から開栓棒により行う。 右側のマンホールは排泥槽。								
											
留意事項			類似構造の排泥工が下流に1ヵ所存在することから別紙一覧表での整理により平面図・縦断面図は省略した。 各排泥工における構造の詳細確認は施設管理図を参照のこと。								

排泥工番号		路線名	東部幹線用水路	緯度	35 ° 25 ' 52.87 "								
18号排泥工		関連事業名		経度	140 ° 20 ' 48.14 "								
説明図													
管理施設・配管・模式図													
													
<table><tr><td colspan="2">凡 例</td></tr><tr><td>空 気 弁</td><td>⊗</td></tr><tr><td>仕 切 弁</td><td>⊕</td></tr><tr><td>マンホール (人孔)</td><td>Ⓜ</td></tr></table>						凡 例		空 気 弁	⊗	仕 切 弁	⊕	マンホール (人孔)	Ⓜ
凡 例													
空 気 弁	⊗												
仕 切 弁	⊕												
マンホール (人孔)	Ⓜ												
【排泥弁について】 18号排泥工の主弁は手動仕切弁で、全閉操作、全閉からの開操作時は開栓棒（開は時計廻り）での操作となる。 仕切弁は開栓ロッドに開栓棒の受け口が設置されているタイプ。													

「排泥工」

上段の数字は松潟支線分を含んだ面積(事業計画Ⅰ、東部幹線に寄る受益面積)、下段()は、国営単独分(松潟支線分を含まない)の受益面積を表示している。



19号排泥工

(構造及び規模)

・排泥弁室(仕切弁 φ 150mm)

・放流管(硬質塩ビ管 φ 300mm)

.....

.....

.....

.....



.....

.....

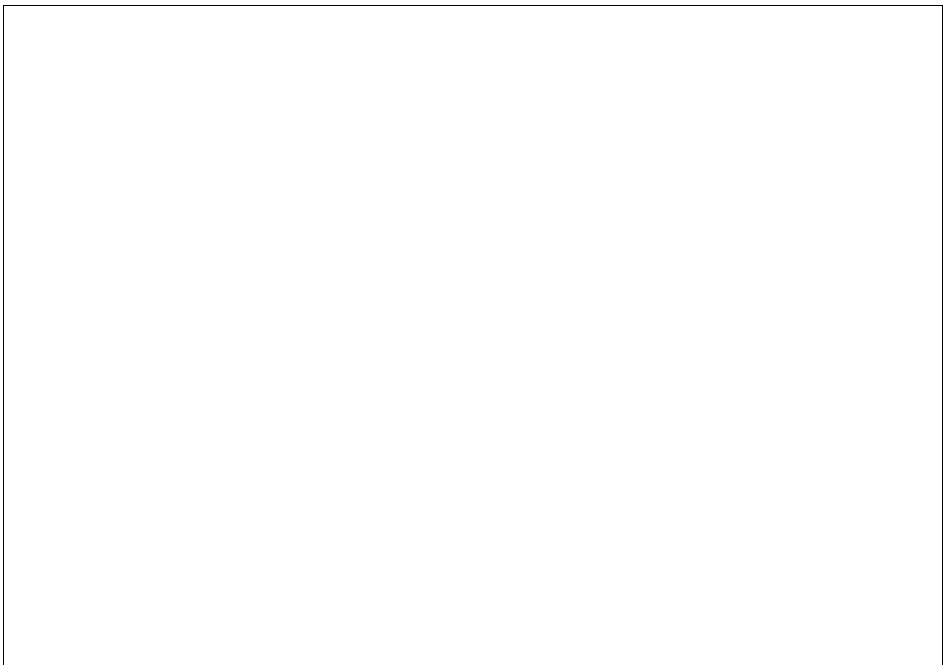
.....

.....

.....

.....

.....



.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....